

ネットで子供の安全を守る

エム・ティー・データ通信

(福岡市)



子どもの安全をどうまく守る方法はないだろうかー

携帯端末向けのシステム開発・販売を行う同社が、最も力を入れている分野は、幼稚園や保育園が、不審者情報などの緊急連絡を、携帯電話のメールで保護者に配信したりできる「EYE-NET」(アイネット)を販売している。

アイネットは、園と保護者を結ぶ情報管理インターネットシステム。園側からの迅速な緊急連絡が可能なほか、保護者が携帯電話やパソコンから欠席届を送信したり、園の行事予定や昼食の献立を閲覧したりできる。

福岡市の通信会社を一九九六年に辞めた宮地俊信社長(35)が起業した。社名の「エム・ティー」はマルチメディア・テクノロジーの頭文字で、社員はほかに男女四人ずつ。大半が二十歳代だ。入室管理システムなども扱っている。

アイネットは、宮地社長が自分自身、小学生と幼稚園児の父親であることから発案。半年近くかけて開発し、昨年、販売を始めた。すでに福岡、久留米、大牟田の各市や、神奈川県内にある十一の幼稚園・保育園が導入している。園側は初期投資で21万円、あとは保守管理費として月々3万円1500円を支払い、保護者の負担はない。

宮地社長は「奈良の誘拐殺人事件など、子供が被害者になる痛ましい事件が多い。事件を未然に防ぎ、安全が確保できよう、アイネットを小学校にも広げ、日本全国、海外でも展開を図りたい」と話している。

問い合わせは福岡市西区周船寺の同社(092・807・9999)へ。



パソコンに向かって仕事をする社員(右は宮地社長)

FUKUOKA NEWS

七

雰囲気少し明るくなる。天と左るメトロ都市が完成した。神初出店という店も多く、期との思いだ。地方色があり、待してもらいたい。延伸部の、アパートにも引を取らない。う人も出てくるのでは。五十三店舗を含め五百五十一店がそろった地下街は全国で、階段出入り口の説明書きがた

たい。(おわり。この連載は木野千尋、北村大次が担当しました)

国際協力エッセー 県内入賞者決まる 国際協力機構(JICA)が募集した「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2004」の県内の入賞者が決まった。表彰式は二月十九日、北九州市八幡東区のJICA九州で。

【中学】▽優秀賞 京田 寿世(矢部)▽九州国際センター所長賞 横尾阿衣(敬称略)

【高校】▽準特選 野田 善(筑紫野南2) 廣井沙耶(北九州市・篠崎3)▽青年海外協力協会会長賞 立石大憲(福岡市・大濠2)▽学校賞 大瀬、福岡市・原北、筑紫野南

結香(筑陽学園3)▽入選 井形文佳、伊瀬知ひとみ、杉野祥子(以上修猷館1) 池田麻美(城南2) 植林智子、津田和幸(以上城南1) 島津智美(筑陽学園3)▽九州国際センター所長賞

伊須須藤、田口大輔(以上香住丘1) 古賀雅菜(八幡ま1) 田中舞菜、中嶋悟史、松尾有希子(以上北九州高専2)▽青年海外協力協会会長賞 弓削真祐、平川明香(以上同)▽学校賞 北九州高専、香住丘、修猷館、城南

救済かた

福岡市消費生活センターは、消費者救済をかたうた人情報を入手しようとするたな手口が横行しているからに似た。これまでに客られた相談は一件だが、同の手口に遭った人はほかに多いとみており、安易に情報を漏らさないよう注意を喚かけている。

同センターによると、一



筑後の味創作

久

筑後地方の食材を使った創作料理コンテストの作品を展示する筑後の味わいのまつりが二十九日、久留米市の久留米地域地場産物振興センター(地場産くるめ)で始まった。三十日まで。同センターが昨年末、お菓子、乾めんを使った料理マ